



## 2017.10.23 News タイ国と一带一路の交差「トヨタ財団助成式典記念講演」

10月23日（月）14:00よりハイアット・リージェンシー東京（新宿）でトヨタ財団の助成金授与式があった。数パーセントの難関を突破した多数の優秀なプロジェクトが、遠山敦子財団理事長より助成金の授与を受けた。



同財団は、「先見性」「市民性」「国際性」を標ぼうし、長年、生活・自然環境、社会福祉、教育文化等の領域への助成を続けて、成功している。

式典後、審査委員長末廣昭教授（学習院大学 国際社会科学学部 学部長）によるタイ国の経済情勢と中国の一带一路戦略などに関する興味深い記念講演があった。

末廣教授は、タイおよび東南アジアの経済地政学のオーソリティとして知られる。

- ・「中所得国の罫」とタイ経済
- ・長期経済戦略と「Thailand 4.0」
- ・東部経済回廊（EEC）とタイ大企業の戦略
- ・中国の「一带一路戦略」と EEC
- ・The Thailand Way の行方



タイでは、政治の混乱のなか、新国王の登場があり、経済戦略にも錯綜がみられる。



前首相時代の5か年開発計画から20年国家戦略へ移行し、ドイツ・産業4.0を参考したThailand 4.0が誕生した。

新国王が政治、経済、国民に対して、どのようなスタンスで臨むかは未知数であるが、東南アジアでもっとも経済成長で成功してきたタイの今後の動向は注目に値する。

『アジア地域の中の「東部経済回廊」開発構想』（下図）が動きだせば、近隣諸国はもとより、東南アジア全域に大きな影響を与えることが予想される。中国がこれに着目して、一带一路戦略と結ぶ構想を提案した。

タイに進出した日本企業は多い。インド、米国の関心の寄せ方も絡んでくると、世界でも有数のホットな地域になるだろう。